



天文台だより

銀河の森天文台
2014 夏号
Vol. 64

足寄動物化石博物館と相互連携協定を締結！



2014年3月20日(木)、「りくべつ宇宙地球科学館と足寄動物化石博物館の包括連携に関する協定」の調印式が足寄動物化石博物館で行われました。

調印式では、上出洋介りくべつ宇宙地球科学館長と澤村寛足寄動物化石博物館長が協定書に互いに署名し、両館の包括連携協定締結となりました。

協定の一環として、片方に入館するともう片方の入館料が割引になる「2館相互入館優待券」を発行しています。今後は両館の特徴を生かし、協力し合い、連携イベント等を開催する予定です。

協定締結後握手する両館長(左から、金澤統一陸別町長、上出洋介館長、澤村寛館長、安久津勝彦足寄町長)

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

4月下旬、NASAの探査衛星ケプラーが、地球に似た惑星を発見しました。中心にある恒星(太陽系であれば太陽)からの距離がちょうどよく、地表に水が存在できるし、その惑星のサイズが地球とほぼ同じと聞けば、つい人間のような知的生命体の存在を期待してしまいます。



(上出洋介館長)

さて3月20日、当館は足寄動物化石博物館と包括的連携を目指し、協定を結びました。宇宙と動物と言え、一見異分野のように感じるかも知れません。しかし、私はこの二つは手段(たとえば、望遠鏡、化石)が違うだけで、両者とも目指すところは、地球や私たち自身を含む生命であり、ゴールは共通していると思います。連携事項は、日常の研究調査に始まり、館の運営に関すること、社会貢献や教育振興についての社会への発信、そしてスタッフの研鑽の4本柱。新しい科学の魅力発信が十勝から全国に広まり、「理科離れ」にブレーキをかける役割も果たしていきたいと考えています。

7月12日(土)、第6回陸別スターライトフェスティバル開催！

銀河の森天文台開館10周年を記念して開催を始めた陸別星祭り「陸別スターライトフェスティバル」が今年で第6回を迎えました。今年、7月12日(土)に下記の内容で開催します。また、この日は開館時間を24時(好天時は翌2時)まで延長しますので、来館者が持ち寄った望遠鏡と合わせて賑やかに星空を楽しむことができます。望遠鏡をお持ちの方は是非ご持参下さい。

開催日時: 7月12日(土) 14時~24時

参加方法: 予約不要(入館料のみ)

※ 陸別町民は無料です！

プログラム

19:00 開催挨拶

19:15~ 講演会

自然写真家・環境カウンセラー

牛山俊男氏講演会

『宇宙の中の地球、地球の中の私』

~ 生命の故郷を訪ねて、

大地の鼓動を感じる旅へ~

20:40~ ミニコンサート 弦楽四重奏

アンサンブルグループ「奏楽(そら)」

24:00 閉館

※ 天体観望会は常時開催しています

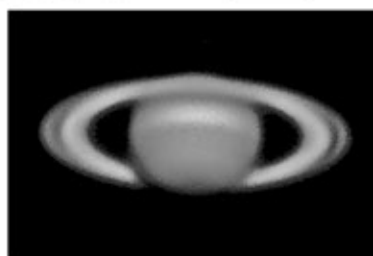


暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:44	19:14	3.8	7:24	21:08
7月 15日	3:53	19:08	17.8	20:38	7:15
8月 1日	4:10	18:52	5.2	9:09	21:03
8月 15日	4:26	18:33	19.2	20:53	9:43
9月 1日	4:45	18:05	6.5	11:04	21:22
9月 15日	5:00	17:40	20.5	21:34	11:42

夏は土星が見頃です！



今年の土星は、てんびん座の中で明るく輝いています。8月中旬からは火星もてんびん座の中に移り、目では火星・土星と並んで見えます。

天文行事&暦

7月

- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
- 12 陸別スターライトフェスティバル
○満月
- 13 水星が西方最大離角
(光度:0.4等, 離角:20° 55')
- 23 大暑(24節気:太陽黄経120°)
- 23-8/3 天の川と夏の天体観望会
- 27 ●新月

8月

- 7/23-8/3 天の川と夏の天体観望会
- 7 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 11 ○満月
- 11, 12 天文台特別開館
- 12, 13 ペルセウス座流星群観望会
- 13 ペルセウス座流星群が極大
(AM9時 最大30個/時)
- 23 処暑(24節気:太陽黄経150°)
- 25 ●新月
- 30 海王星が衝(7.8等, 視直径2".4)

9月

- 8 白露(24節気:太陽黄経165°)
中秋の名月
- 9 ○満月
- 22 水星が東方最大離角
(光度:0.1等, 離角:26° 24')
- 23 秋分(24節気:太陽黄経180°)
- 24 ●新月
- 27 町民星空コンサート

夏のイベント情報 !!

☆天の川と夏の天体観望会

天の川周辺にはたくさんの星団・星雲があり、天の川が良く見えるこの時期に観望会を開催します。また、てんびん座の中には土星も見えていますので、望遠鏡では土星の輪も楽しめます。

開催日時: 7月23日(水)~8月3日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ペルセウス座流星群観望会

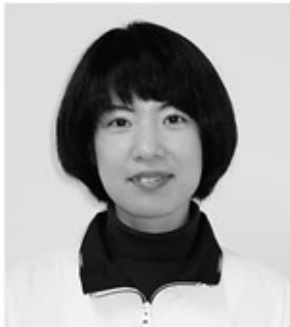
ペルセウス座流星群が8月13日の午前9時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 8月12日(火)、13日(水)

説明会: 午後7時30分から

拝啓、天文台より - 「ごあいさつ」 -

はじめまして、こんにちは。今春から、天文台にて星空案内をさせていただいております、守屋と申します。豊かな自然のなか、あたたかな方々ばかりの素敵な町で、こうしてお客様と接することのできる日々、感謝の気持ちでいっぱいです。とても身近で、目に見えるものから広がる、不思議な世界。天文台では、覗き込んだり、見上げたり、夜空から広がる科学を満喫できます。



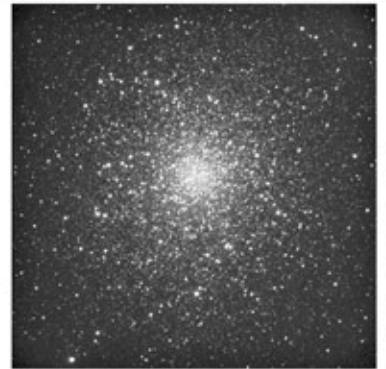
守屋 来 (もりやきり)

私自身、勉強不足を痛感する毎日ではありますが、お越し下さったみなさまに楽しんでいただけますよう、「日進月歩」のごとく、努力してまいりたいと思います。夜空をぼっと照らす、さまざまな天体のように、みなさまの心の中にぼっと、何かを灯すお手伝いができたら、と願いながら、みなさまにお会いできる日を楽しみにしております! よろしく願いいたします!

(守)

今夜、宙を見上げて - M13球状星団 -

ヘルクレス座にある球状星団M13は、数十万個もの星々が球状に集まる星団で、星の密集度が高く明るいため、北半球でもっとも見やすい球状星団です。暗い夜空の下では肉眼でも見ることができ、双眼鏡で見るとぼんやりとした星雲状に見えます。大口径の望遠鏡では中心部まで星が分離して見え、とても見ごたえがあります。球状星団は赤色巨星など、年老いた古い星からなる星団で、これらの星は銀河系形成の初期に誕生し、銀河系誕生の秘密をにぎる天体と考えられています。距離: 約25,000光年 (算)



天文台からのお知らせ

☆ 8月11日、12日は、月・火曜日ですが、特別開館いたします。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp